



アカウミガメの産卵と子ガメの誕生シーズン!

毎年、5月〜8月ごろになると、アカウミガメが産卵のため上陸し、砂浜には特徴的な足跡が残されます。アカウミガメは、大人になると甲羅の長さが80センチほどにもなり、体重は100キログラムを超える大型動物です。昔話の「浦島太郎」に代表されるように、日本のウミガメは私たちの生活に身近な生き物でしたが、近年は環境の変化によって絶滅危惧種に指定されています。

アカウミガメのメスは、産卵期には餌を食べずに絶食して、空になったお腹のスペースに大量の卵を準備します。まさに「母は強し」ですね。夜になると砂浜に上陸して1回に120個ほどの卵を産み、約2カ月で子ガメが誕生します。日本で生まれた子ガメは、黒潮に乗って太平洋を横断し、遠くアメリカの西

海岸まで移動します。ここで餌を食べて十分に成長すると、再び太平洋を横断して日本に戻ってくるのです。ウミガメは世界を旅しているんですね!

しかしこのとき、海岸にゴミなどが多くあると、母ガメは産卵を諦めて海に戻ってしまうことがあります。また、砂浜に車が入り入れて「わだち」ができると、子ガメにとっては大きな溝となって、海に帰れない場合もあります。

ウミガメが成熟して親になるまでには、少なくとも30年は必要と言われ、1個の卵が大人になるまでに生き残る確率は、一説には5千分の1であると報告している研究者もいます。貴重なウミガメを守るため、ぜひ海岸環境の保全にご協力をお願いいたします。



■ウミガメを発見された場合にはご連絡ください
平成22年(2010年)、串間市高松海岸で足に標識が付いたアオウミガメが保護されました。日本ウミガメ協会に問い合わせたところ、このカメは串間市から約1,170キロメートル離れた小笠原諸島の父島で放流されたカメだと分かりました。こうした目撃情報は貴重な生息記録となりますので、ウミガメを見かけた場合には、ぜひ串間市役所生涯学習課までお知らせください。

■お知らせ
令和2年11月に開催を予定しておりました「第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭」の串間市大会「南浦文之とそれに関わる高僧・櫛間院瀧源寺の国際フォーラム」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度に延期されることとなりました。大会日程は決まり次第、あらためてご案内させていただきます。
なお、串間市美術展は予定通り開催する方針ですが、串間市民秋祭り・文化祭については現在、通常開催が可能か検討中です。



市長コラム 「備えあれば憂いなし」

毎年、夏から秋にかけては台風に悩まされる季節となり、近年では年間20回以上頻発して日本各地に被害をもたらしています。また、最近の台風は大型化するものが多く大規模災害にもつながっています。

梅雨の時期も近年では、地域によってはわずか2日足らずで年間雨量に達するなど大雨による被害も拡大しており、先日の九州での豪雨では60名以上の死者が出るなど甚大な被害が発生しました。被害に遭われた方々には心からお見舞いを申し上げます。また、1日も早い復興をお祈りいたします。

本市では毎年梅雨前に、大雨や台風などに備えるための災害危険箇所点検調査を関係機関と連携して行っておりますが、自



先日の豪雨によって陥没した道路を視察する様子

然災害は時には想像を超える力で私たちに襲ってきます。市民の皆さまにおかれましても、いつ災害が起きても対応できるように、避難行動や備蓄品の確認など日ごろから防災対策を行っていただきますようお願いいたします。

先日、近隣市において新型コロナウイルス感染症の感染者が発生しましたが、本市においても改めて強い危機感を持って感染症予防に取り組んでいくとともに、災害時における避難所などでの感染症防止対策も徹底してまいります。

「備えあれば憂いなし」。明日は我が身と考えて、市民の皆さまそれぞれの対策をお願いいたします。

地域おこし協力隊 活動日記



No.40 それは、どこですか?



かいまいこ 甲斐 舞子さん

あれはちょうど今から1年前。夫から「串間に移住したい」と言われたとき、串間では何をしよう? あっ、観光はどこに行こう? そうだ、おいしい食べ物いっぱい食べたい! と移住生活への妄想がどんどん膨らんでいきました! …ごめんなさい、私、ウソをつきました。正直、最初に思ったのは…、「串間? それは、どこですか!」でした。

移住してからあっという間に半年以上来てみたら…、はい、めちゃくちゃいいところでした。とにかく毎日楽しく過ごさせてもらっているのは間違いないです。ただ、九州在住以外の人が串間と聞いて、こんなに良い場所だと知っている人は少ないのでは? (違っていたらごめんなさい!)。移住前に串間の情報をいろいろと探しても、欲しい情報が見つからなかったり、見つかったと思っただけでいざ移住しようとしたら、友だちや同僚などに串間の説明をすると、「そっか、宮崎か。えっと…、町の名前なんだっけ。宮崎のどこらへん?」みたいな。

(知る) ↓ 感情段階 (興味を持つ) ↓ 行動段階 (検索 ↓ 行動 ↓ 共有) ↓ という、串間はファーストステップの「認知段階」。まずはターゲット層に知ってもらうための認知活動からスタート! 地域おこし協力隊に就任してからは、こんなに美しくておいしい串間の存在を知るチャンスが一人でも多く増えますように、串間の認知をさらに高めるために情報発信のプラットフォームにするべく「くしまオリジナルブランド」公式サイトの新に着手。そして潜在顧客にアプローチするため Instagram も再開。新たにオンラインで串間ファンと密なコミュニケーションがとれるように「ZINE」もスタート。動画コンテンツも増やしていきたいと妄想しながら、現在は串間の食材が全国に広がるよう日々PR活動に奮闘中です!

という訳で、マーケティング戦略がよく使われる購買行動プロセス「認知段階

bit.ly/kushibura

くしまオリジナルブランド 推進協議会

Instagram: @kushibura

KUSHIBURA